

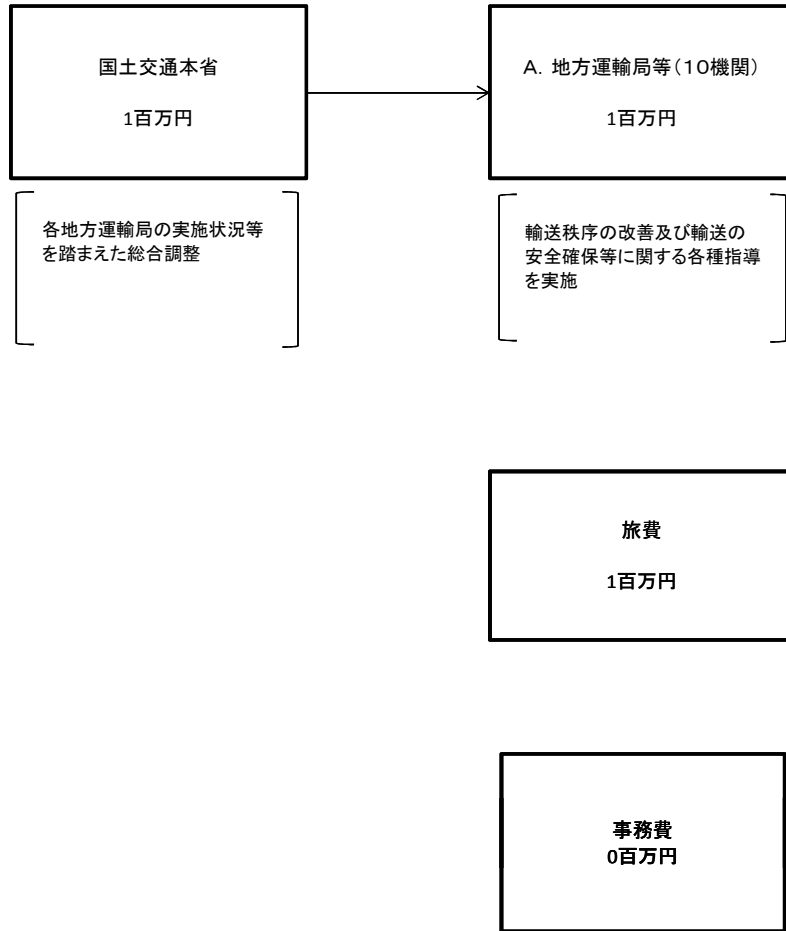
平成25年行政事業レビューシート

(国土交通省)

事業名	貨物自動車運送秩序改善等対策		担当部局庁	自動車局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	昭和52年度～		担当課室	貨物課		課長 加賀 至		
会計区分	一般会計		政策・施策名	5 安全で安心できる交通の確保、治安・生活安全の確保 14 公共交通の安全確保・鉄道の安全性向上、ハイジャック・航空機テロ防止を推進する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	貨物自動車運送事業法		関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	貨物自動車運送事業の運営を適正かつ合理的なものとするため、輸送秩序の改善及び輸送の安全確保等について指導を行い、事業の健全な発達を図る。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	・貨物自動車運送事業に係る輸送秩序の改善のため、地方貨物自動車運送適正化事業実施機関に対する指導監督等を実施 ・過積載防止の徹底を図るため、過積載防止連絡会議等を実施							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算	-	-	-	-	-	
		繰越し等	-	-	-	-	-	
		計	3	2	1	2	2	
	執行額	1	2	1	-	-		
	執行率(%)	36.4%	97.1%	79.9%	-	-		
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (-年度)
	貨物自動車運送事業者の過積載防止違反の行政処分件数		成果実績	件	128	134	-	0
			達成度	%	-	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	過積載防止対策連絡会議等実施回数		活動実績 (当初見込み)	回	267	284 (-)	240 (-)	- (-)
単位当たりコスト	4.675 (円/回)		算出根拠	単位当たりコスト=X/Y X:平成24年度執行額(円) Y:平成24年度会議等開催回数(回)				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	職員旅費	1	1					
	公共交通等安全対策調査費	1	2					
	計	2	2					

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	国内物流の6割を占めるトラック産業は国民生活に不可欠な社会的基盤であり、その貨物自動車運送事業に関し、輸送秩序の改善及び輸送の安全確保等を行うことは、広く国民からのニーズがあり、優先度が高い事業である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
事業の効率性	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○	会議の開催の際は、価格・立地等を厳しく精査した上で会場を決定するなど、限られた予算の範囲で効率的かつ効果的な執行を行っており、コスト縮減に努めている。		
	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○			
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-			
事業の有効性	費用・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	成果目標年度を定めていないが、多少の増減があるものの、概ね減少傾向にある。		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-			
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○			
重複排除	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-			
	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-			
点検結果	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
本事業の実施に当たり、会議の開催の際は、価格・立地等を厳しく精査した上で会場を決定するなど、限られた予算の範囲で効率的かつ効果的な執行を行っており、コスト縮減に努めている。今後も引き続きコスト縮減に努めることとする。						
外部有識者の所見						
行政事業レビュー推進チームの所見						
事業内容の改善	引き続きコスト縮減を図り、今後も、より効果的な予算執行となるよう事業を遂行すべき。					
	所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
執行等改善	会場借料について、関係者の会議室を利用するなどの対応により、過積載の防止効果に配慮しつつ、最小限のコストとなるように、予算要求を行った。					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	311	平成23年	0289	平成24年	0297

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.中部運輸局			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
旅費	職員旅費	0			
計		0	計		
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計			計		
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計			計		
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計			計		

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	中部運輸局	旅費、事務費	0	-	-
2	北陸信越運輸局	旅費、事務費	0	-	-
3	四国運輸局	旅費、事務費	0	-	-
4	関東運輸局	旅費、事務費	0	-	-
5	東北運輸局	旅費、事務費	0	-	-
6	九州運輸局	旅費、事務費	0	-	-
7	中国運輸局	旅費、事務費	0	-	-
8	北海道運輸局	旅費、事務費	0	-	-
9	神戸運輸管理部	旅費、事務費	0	-	-
10	-	-	-	-	-